

## 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科
3. 専門分野 ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、インフォマティクスを活用したデータ駆動型プロセス研究を推進するために、ものづくり支援のための数理シミュレーション（計算科学）、インプロセスの計測・センシング、材料及び材料表面、薄膜の評価技術、プロセス・インフォマティクスを活用したものづくりプロセス等に関わる研究経歴を有し、これらの分野における研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 応用数学、計算力学、流体力学、キャップストーンプロジェクト（企業課題解決 PBL 演習）、課題研究、セミナー、卒業研究指導など  
(大学院) 熱流体知能化システム論、機械工学専門セミナー、修士論文指導、博士論文指導など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し、研究上の業績を有すること  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2025年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制（本学給与規程による）  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。）  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1\*による。）  
(2)研究業績書（本学所定の様式2\*による。）学術論文は、①学術誌論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。  
(3)主要論文5編（コピー可）  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要(1,000字程度)  
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)  
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注\*印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照ください。
9. 応募締め切り 2024年9月18日（水）必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接（模擬授業を含む）  
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接  
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。  
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
提出先： 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也  
TEL：0184-27-2000（本荘キャンパス代表）、E-mail：tetsuya\_nishida@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。  
問い合わせ先： 秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 鶴田 俊  
TEL：0184-27-2102（ダイヤルイン）、E-mail：Ttsuruda@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

（次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画）

[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317\\_koudou02.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf)

## 今回の公募で求める人材像

機械工学科では、学科の研究教育方針に基づき、さらに今後強化すべきプロセス・インフォマティクスにおける研究分野の観点を加え、ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、インフォマティクスを活用したデータ駆動型プロセス研究を推進するために、ものづくりプロセスの数理シミュレーション（計算科学）、インプロセスの計測・センシング、材料および材料表面、薄膜の評価技術、プロセス・インフォマティクスを活用したものづくりプロセス等に関する研究を対象とし、研究や教育、地域資源活用、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

### [教育]

今後、生産システム工学において必要不可欠となるプロセス・インフォマティクスを理解し、ものづくり基盤技術の知識を有し、インフォマティクスを活用したデータ駆動型ものづくりプロセスに関する数理シミュレーション、計測・センシング、評価、ものづくりプロセスなどの専門性を有し、ものづくりの基盤技術のデジタル変革を持続させる教育を行える人材を求めます。

### [研究]

機械工学科では、ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、インフォマティクスを活用したデータ駆動型プロセス研究を推進するために、数理シミュレーション（計算科学）、インプロセスの計測・センシング、材料および材料表面、薄膜の評価技術、プロセス・インフォマティクスを活用したものづくりプロセス等に関わる研究を主要テーマに掲げており、これらのテーマに意欲的に取り組める人材を求めます。

### [地域貢献]

機械工学科では、ものづくり基盤技術を核とする地域産業に関わる技術開発、共同研究の取り組みが期待されています。特に地域産業では、人口減少、新規雇用が困難な地域にあつて、工場のスマート工場化、ものづくり現場でのデータ活用など近々の課題となっており、この面からも、実用性を重視したプロセス・インフォマティクスを先導し、世界および地域における課題解決に意欲的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

# 令和6年度 機械工学科大講座グループ構成

基本方針: 機械工学科は3大講座制とし、地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を推進する。

## 材料構造工学講座

### ●応用材料力学研究グループ

機械部品から細胞培養基質までの幅広い材料の開発、成形加工とその強度や諸特性の解析と評価方法を研究しています。また、研究成果の社会的還元を目指して、応用分野についても研究と開発を進めています。

### ●先端材料研究グループ

複合材料、機能性セラミックス、アモルファス金属、準安定結晶などの先端材料を主な対象とし、より優れた機能を有する材料を創製し、その特性を調べ、有効に利用するための方法を研究・開発しています。

## 熱・流体工学講座

### ●熱科学研究グループ

熱科学を基礎として、社会から要望される「環境」「エネルギー」「安全」の調和した技術開発に貢献することを研究の目的としています。また、地域の技術開発を支援する目的で熱計測技術の研究も行っています。

### ●電磁場ダイナミクス研究グループ

電磁場を用いたアクチュエータや物体の制御技術について、実験とシミュレーションを通じて研究しています。エネルギー貯蔵、システム効率の改善、水素社会への対応、医工学技術による治療など、人と社会に貢献する技術の基礎研究を行います。

## 設計生産工学講座

### ●応用機械設計研究グループ

地球規模で急速に進む環境問題を踏まえ、各種力学、材料学、加工学、制御工学、電磁気学など多岐にわたる分野の総合である機械設計をベースに、人間の生活・環境・産業に寄与する機械システムの研究開発に取り組んでいます。

### ●先端加工研究グループ

製造技術の根幹をなす機械要素や光電デバイスの精密・微細加工製作方法に関する研究を行います。超音波や磁場を援用した精密加工技術の高度化開発や、微小径工具を用いた高精度・高効率加工を行っています。